福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	成人健康診査事業							事業コード	040104410357		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施策名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進					施策コード	522			
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	138・139	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	健康増進法、福知山市健康診査事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・生活保護受給者等無保険者は、健康状態に課題がある人が多いが、日々の生活で精一杯な人がほとんどであり、自身の健康に関心を持つ人が少ない。 ・生活保護受給者等無保険者は、自身の健康に関心を持つ人が少ないため、生活習慣病等の疾患につながりやすく、本市の医療費増加にもつながる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 生活習慣病の早期発見・早期治療のためには自身の健康状態を知る必要があり、その1つの手段として健診があるが、例年受診者数が少ない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、健診の機会を保障することにより、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病を早期に発見し、食事・運動・禁煙など生活習慣改善を図り、疾病を未然に防ぐことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・健康診査・がん検診のお知らせ（かわら版）を4月上旬に各戸配布 ・実施方法　集団健診：各保健福祉センターや地域公民館で実施（8月～12月） 個別健診：福知山市内の30指定医療機関（5～12月）※4月下旬に対象者に対して個別健診受診票を送付 ・健診内容　問診・身体計測・医師の診察・血圧測定・検尿・血液検査・結果説明 ・自己負担金　無料

対象者	40歳以上の生活保護受給者等無保険者	対象者数	667	単位あたりコスト	6.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、福知山医師会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	6	消耗品費			
役務費	28	郵送料			
委託料	461	無保険者健康診査業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	763	587	749	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		763	587	749	
予算財源内訳	① 一般財源	330	161	429	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	433	426	320	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 168	1		
	② 配当予算	595	588		
	③ 執行額	595	495		
	④ 執行率	100.0%	84.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.26 / 0.31	0.40 / 0.10	/	/
	② 概算人件費	2,948	3,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,543	3,975		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	健康増進事業	衛生費府補助金	258	24	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	33.3	28.9	32.0	26.8		
	要医療者割合	目標値		30.0	30.0	25.0	25.0	20.0	
		達成度	%	111%	96%	128%	107%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人（%）	42（6.3）	38（6.1）	50（7.5）	41(6.4)		
	受診者数（受診率）	当初見込		60	68	65	50	60	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・個別健診受診票の送付 ・社会福祉課発行の健康だより裏面に健診のお知らせを掲載 ・ケースワーカーから受診勧奨や集団健診申込者への呼びかけを依頼する								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・受診者の約3割は要医療で新たに治療が必要な疾患が見つかっている。また、脂質や血糖異常、貧血で要医療の割合が高い傾向にあり、食生活や運動習慣についての指導が必要と考えられる。そのため、訪問等による指導や健診の受診勧奨をより一層強化する必要があり、ケースワーカーとの密な連携が益々重要である。
現状の課題に対する改善策	・個別健診受診票の個別送付や、社会福祉課の健康だよりの裏面に健診のお知らせを掲載してもらうことを継続し、新規受診者や継続受診者を増やしていく。 ・ケースワーカーによる受診勧奨も継続してもらうよう社会福祉課と連携を図り実施する。 ・健診期間外の健康だよりには、保健師・栄養士の視点を入れた内容にできるよう社会福祉課と調整し、生活習慣を改善できるよう検討していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	特定健康診査等事業						事業コード	4.01014502880401E+22	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施策名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進					施策コード	522	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司		
会計情報	款	04保健事業費	項	01特定健康診査等事業費	目	01特定健康診査等事業費	会計	02 国保	決算附属資料 227・228 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律ほか								
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	国保人間ドック事業								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加え、①脂質異常、②高血糖、③高血圧値のうち2つ以上を合わせ持った状態である。それぞれの危険因子がまだ病気でない軽い状態であっても、重なることで命にかかわる虚血性心疾患や脳血管疾患を引き起こすリスクが高くなる。そのメタボリックシンドロームの早期発見を目的とした特定健診の受診率を上げ、メタボリスクが高い特定保健指導該当者への保健指導をすることは疾病予防と疾病の重症化予防に有効であるため、国をあげての特定健診受診率向上を目指している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・特定健診受診率（R6:38.4%、R6目標値:38%）は、第3期特定健康診査等実施計画の目標をわずかに上回ったが、国の目標値（60%）には届いていない。 ・年度別メタボリックシンドローム該当割合は、特に男性で基準該当・予備軍該当割合50%を超えている。（R2:49.7%→R6:51.0%）
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・被保険者の健康増進と医療費の抑制は保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につけることが必要である。生活習慣病予防を目的とした健診を受け、身体の異常を早期に発見し、専門職による保健指導を行い、または医療機関受診へつなげることにより、被保険者の健康を維持し、重症化に伴う医療費の増大を抑制する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 特定健康診査・・・メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病を予防するための指導につなげる健診を実施。 対象者に特定健康診査受診券を送付し、集団健診と委託医療機関での個別健診を実施。 【期間】集団健診:8～12月　個別健診:5月～12月　【自己負担額】500円（40歳、50歳、70歳以上、市民税非課税世帯、生活保護世帯は無料） 特定保健指導・・・特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群に対し、生活習慣病改善のための保健指導。 総合健康管理システム（健康かるて）を構築し、被保険者の健診データを保管、継続的な健診や保健指導を実施。
対象者	福知山市国民健康保険被保険者（40歳以上）　対象者数 9,672　単位あたりコスト 5.0
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会、一般社団法人京都府医師会、一般財団法人京都予防医学センター　京都府国民健康保険団体連合会　ほか

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	1,826	会計年度任用職員報酬	委託料	40,667	健康診査費用
職員手当等	742	会計年度任用職員期末手当	使用料及び賃借料	42	会場借用料
共済費	411	共済短期負担金会計年度任用職員	負担金補助及び交付金	44	システム設定費用
報償費	68	健康運動指導士謝礼			
需用費	941	問診票・パンフレット等購入			
役務費	2,222	郵送料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	63,777	64,423	66,356	0
	② 補正予算	235	88	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	64,012	64,511	66,356	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	63,527	64,261	66,180	
	④ 地方債	0	250	0	
	⑤ その他特財	485	0	176	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	64,012	64,511		
	③ 執行額	43,447	46,963		
	④ 執行率	67.9%	72.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.15 / 0.00	0.18 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	9,200	1,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		52,647	48,403		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	保険者努力支援分	保険給付費等交付金	7,068	222	
	府繰入金（2号分）	保険給付費等交付金	27,740	222	
	特定健康診査等負担金	保険給付費等交付金	11,960	222	
	特定健診等自己負担金	雑入	127	223	
	診療報酬返還金	雑入	68	223	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	21.7	19.0	33.8	19.9		
	受診勧奨対象者の健診受診率	目標値		―	―	23.0	23.5	24.0	
		達成度	%	―	―	147%	85%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	37.7	38.5	38.4	未確定		
	法定報告の特定健診受診率（R5までは第2期データヘルス計画に基づく、R6からは第3期データヘルス計画に基づく）	当初見込		44.0	45.5	38.0	38.5	39.0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・特定健診受診率向上のために、業者委託にて未受診勧奨（通知物郵送、電話勧奨）を実施。その他、かわら版、広報ふくちやま、福知山市公式HP、福知山市公式LINE・インスタグラム、新聞広告にて健診受診勧奨の広報を掲載。職域で健診を受診された場合の結果提出を求める内容を広報している。・個別健診を行い、受診しやすい環境を提供している。また、集団健診では送迎タクシーを配車するなど、交通手段がない人についても受診できるよう工夫を行っている。・500円の負担金設定で受診しやすくしている。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	15.2	17.9	2.2	未確定		
	法定報告の特定保健指導終了率（R5までは第2期データヘルス計画に基づく、R6からは第3期データヘルス計画に基づく）	当初見込		40.0	40.0	16.0	17.0	18.0	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・集団健診結果返しで必ず面談を実施するので、特定保健指導該当者には特定保健指導の必要性を説明し、保健指導につなげる。 ・個別健診受診者、人間ドック受診者のうち、特定保健指導該当者には郵送にて特定保健指導利用勧奨通知を送付し、後日電話勧奨にて説明する。 ・民間協定事業所と連携した身体測定会を令和6年度から半日×2回実施。新規特定保健指導を実施する場として、身体測定会を活用することができた。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・国が掲げる市町村国保目標受診率60%に対する達成度が低く推移している。令和2年度～令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり受診者数が低調であったが、現在は受診率が改善しつつある。 ・特定保健指導では若年層へのアプローチとして時間指定での保健指導を個別案内している。終了率向上のためには、特定保健指導利用率を向上させることも重要である。面談日時は利用希望者の都合に合わせて柔軟に対応することができている。 ・今までに健診を受けたことがない特定健診未受診者層に向けたアプローチが課題。効果的な受診勧奨により特定健診受診者数を増やす必要がある。
現状の課題に対する改善策	・健康意識の低い、または健康だと思っているため今まで特定健診を受けたことがない、特に若年層に多い特定健診未受診者層に向けたアプローチや啓発が必要であり、継続的な課題である。若年層に向けた啓発方法として、SNSを活用した広報やイベント、また企業と連携した啓発等を実施していく。 ・特に、未受診者勧奨事業では、未受診者にとって、受診の後押しとなるようなメッセージや、電話での直接的な呼びかけを取り入れ、受診勧奨効果を高めることで受診者数を増加させる。 ・特定保健指導については、医療機関とも連携してタイミングを逃さない利用勧奨を行い、年代や支援内容に応じた指導方法を検討し実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国保人間ドック事業						事業コード	040202450259		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進					施策コード	522		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	04保健事業費	項	02保健事業費	目	02疾病予防費	会計	02 国保	決算附属資料	228・229 頁
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	国民健康保険法ほか									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国民健康保険法に基づく事業 ）									
関連事業	特定健康診査等事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市では特定健診の項目に腹部超音波検査、腫瘍マーカー検査、胃部健診（胃カメラか胃バリウム）、便検査を加えている。そのため、国保人間ドック受診者のうち、40歳～74歳については、法定報告の特定健診受診者に含まれる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・被保険者数の減少に伴い、国保人間ドックの受診者数は減少傾向にある。（H28：953人→R1：850人→R7：825人） ・30歳代の受診者に対して、保健指導を実施していく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・被保険者の健康増進と医療費を抑制することは、保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につけることが必要である。人間ドックは、健康診査とがん検診が同時に含まれる総合的な健診であり、生活習慣病及び悪性新生物の早期発見、また重症化予防を目的として行うことにより、被保険者の健康の保持増進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施医療機関】市立福知山市民病院・京都ルネス病院 【検査内容】基本的検査（問診・身体測定・理学的検査・血圧）・尿検査・血液検査（脂質・貧血・血糖・肝機能・腎機能・尿酸）・心電図検査・腹部超音波検査・腫瘍マーカー検査・胃部検査（胃透視か胃カメラか選択）・胸部レントゲン検査・便検査（便潜血2日法） 【自己負担金額】14,600円（委託金額の約4割分） 【実施期間】令和7年5月7日～令和8年3月31日 【対象年齢】30～74歳

対象者	福知山市国民健康保険被保険者（30歳以上）	対象者数	9,422	単位あたりコスト	2.2
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	福知山医師会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	9	消耗品購入			
役務費	73	郵送料			
委託料	18,182	検査費用			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		19,480	19,519	21,113	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			19,480	19,519	21,113	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	3,145	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		19,480	19,519	17,968	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		19,480	19,519		
	③ 執行額		18,244	18,264		
	④ 執行率		93.7%	93.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.32 / 0.30	0.24 / 0.05	/	/
	② 概算人件費		3,400	2,060		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			21,644	20,324		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	一般保険料医療・現年分	一般被保険者国民健康保険料	3,053	221	
	人間ドック分繰入金	一般会計繰入金	15,211	222	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	37.7	38.5	38.4	未確定		
	法定報告の特定健診受診率（R5までは第2期データヘルス計画に基づく、R6からは第3期データヘルス計画に基づく）	目標値		44.0	45.5	38.0	38.5	39.0	
		達成度	%	86%	85%	101%	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	780	797	825	825		
	国保人間ドック受診者数	当初見込		890	890	860	860	860	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・特定健診受診率向上のために、業者委託にて未受診勧奨（通知物郵送、電話勧奨）を実施。その他、広報ふくちやま、福知山市公式HP、福知山市公式LINE・インスタグラム、新聞広告にて健診受診勧奨の広報を掲載。・約6割の費用助成を実施（費用助成の条件を達成していないと受診不可）。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・特定健診を含めて、被保険者の健康増進と疾病の重症化予防、将来の医療費を抑制するための事業である。取得した情報は、健康管理システムにおいて管理を行い、特定保健指導が必要な人には案内を送付し、生活習慣改善に向けての指導を行っている。 ・人間ドックは特定健診との重複受診はできないため、特定健診受診者と重複がないかを点検する必要がある。重複受診できないことを引き続き、注意喚起する。 ・幅広い検査項目の受診によって、疾患の重症化予防ができ、将来的に医療費の抑制が期待できる。
現状の課題に対する改善策	・特定健診も含めて受診者のさらなる増加また定期的な健康管理の習慣づけを目指し、広報誌、HP、個別通知等の啓発を図る。 ・受診決定通知書発送前に重複受診をされていないか確認をする。（特定健診−国保人間ドック、国保人間ドック−国保人間ドック）

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	糖尿病腎症重症化予防事業					事業コード	040202450293		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施策名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進				施策コード	522		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課			所属長	高見 眞司			
会計情報	款	04保健事業費	項	02保健事業費	目	02疾病予防費	会計	02 国保	決算附属資料 229 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市国民健康保険第3期データヘルス計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、京都府版糖尿病性腎症重症化予防プログラム第4版								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・国保被保険者の人工透析患者一人当たり透析年間医療費はおおよそ600万円を超えている。(令和元年度～令和4年度) ・令和4年4月～令和5年3月診療期間中に国保被保険者である透析患者を分析すると67.1%は生活習慣を起因とする疾病に分類され、その全員が糖尿病性腎症Ⅱ型糖尿病であった。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・糖尿病有病率が28.5%と高血圧性疾患についで2番目に有病率が高い。 ・透析医療費が高額であり、新規人工透析患者数を減らす必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・糖尿病から腎症への移行を遅延させるためには、早期からの糖尿病の発見及びコントロール(治療)が必要になる。本事業により腎症への移行、糖尿病の重症化を予防することで、人工透析の新規導入数を減少させ、医療費の抑制、被保険者のQOLの向上を目指す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【①医療機関未受診者対策】内容:前年度特定健康診査の結果、重症化リスクの高い、医療機関未受診者に対しての受診勧奨。 方法:レセプトデータ確認後、対象者に受診勧奨の通知文書・アンケートを送付。その後の受診を電話やレセプトにより確認。適宜訪問にて未受診勧奨をする。 【②治療中断者対策】内容:通院中の患者で、最終受診日から6か月以上経過して受診した記録のない者に対しての受診勧奨。方法:レセプトデータ確認後、対象者を抽出し通知文書・アンケートを送付。その後の受診を電話やレセプトにより確認。適宜訪問にて未受診勧奨をする。 【③ハイリスク者対策】医療機関受診中であるが腎症発症の可能性が高く、より厳格な保健指導が必要な人にかかりつけ医了解のもと通知を送付し保健指導希望者に保健指導を実施。
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)　対象者数 9,672　単位あたりコスト 0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	—

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	92	消耗品購入			
役務費	19	郵送料			
使用料及び賃借料	125	複写機使用料			
備品購入費	242	体組成計購入			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	318	537	273	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	318	537	273	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	318	537	273	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	318	537		
	③ 執行額	312	478		
	④ 執行率	98.1%	89.0%		
人工概算	① 従事職員数(正職員 /会計年度任用職員)	0.59 / 0.01	0.14 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,748	1,120		
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)		5,060	1,598		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	保険者努力支援分	種類	保険給付費等交付金	実績金額	478	決算附属資料	222 頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	①40 ②0	①40.5 ②22.7	①12 ②0	①80 ②71		
	医療機関受療率（①未受診②治療中断）	目標値		①40 ②50	①40 ②50	①42 ②50	①42 ②50	①45 ②50	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100		
	【通知率】①未受診②治療中断	当初見込		①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	月１回程度で計６か月の保健指導を実施。対象者１人につき、保健師・管理栄養士がペアとなり、対象者に応じた個別性の高い保健指導を実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0	93.8	83.3	未確定		
	ハイリスク者対策の保健指導終了率	目標値		―	50	50	50	50	
		達成度	%	―	188%	167%	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100		
	【通知率】①未受診②治療中断	当初見込		①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	①100 ②100	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	月１回程度で計６か月の保健指導を実施。対象者１人につき、保健師・管理栄養士がペアとなり、対象者に応じた個別性の高い保健指導を実施。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・高血糖未受診者への再勧奨のため、電話連絡を実施。生活状況や治療状況などを把握した上で、対象者に応じた保健指導を行う。 ・直近6か月間の糖尿病治療中断者にも受診勧奨を実施。アンケートも同封し治療を行っていない理由を把握しながら治療中断者を受診につなげるための工夫を行う。 ・糖尿病治療中の人で腎症発生の可能性が高いハイリスク者への保健指導をR3年度から実施し、R5年度から保健指導の実績あり。腎症発症を予防するためにもハイリスク者への保健指導は重要であるため、福知山医師会、中丹西保健所と連携して実施する。 ・受療率は医療再開の直接的指標となり、また医療機関への受診は、レセプトを確認することで把握ができるため、適切な指標であると考える。
現状の課題に対する改善策	・健康医療課や保健所、医師会の協力は必要不可欠であるため、情報共有し、事業を実施していく。生活指導については保健師や栄養士による適切な指導を行う必要がある。 ・保健指導と医療連携が重要となるため、患者の同意を得たうえで、保健指導の内容や把握した内容を医師に報告書を提出している。また、保健指導にあたっての不明点や確認しておいたほうが良い内容はかかりつけ医に確認するようにし、連携強化を努めている。 ・地区医師会の承諾を得た上でかかりつけ医了解のもと、施策展開することが重要であるため、市の現状を共有するなどして協力が得られるように丁寧な説明を重ねていく。 ・令和7年度の結果を踏まえ、引き続き中丹西保健所や医療機関との連携を図り事業展開していく。 ・高血糖未受診者・治療中断者の受療率が低いことが課題。経年で同じ対象者が該当となっている場合はさらに受療につながりにくいとも考えられるので対象者の分析が必要。国保連の保健事業評価委員会等を活用し、第3者機関に事業の助言を受けながら実施していきたい。